

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所さくら

保護者等数(児童数) 29 回収数 25 割合 86%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	4			決められたスペースの中で状況に応じた環境設定を行い、活動は十分に出来ており、必要に応じて、活動場所を変更したり広げたりと工夫をしている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	3			活動内容や児童の状況に応じて職員の加配をおこなっている。研修受講の他、事例検討など職員間での情報共有共有スキルアップに努めている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	2			必要に応じ環境の見直しを行い設置を進めており、不便なく過ごせている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25				年に2回の面談や日頃の情報交換を大切にしながら、児童の状況、保護者の意見、事業所の見解等を総括し、支援計画を作成、家庭との共通理解のもと進めていけるよう努めている。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	20	5			一人一人の状況や集団の様子に応じ、その時その時で目的意識を持って取り組んでいる。保護者の方々にはその時折、ノート、おたより等でお伝えしているが、伝え方の努力は続けていきたいと思う。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	11	2	1	事業所としての交流は少なくなるが、今年度は2回交流会を行っており、今後も定期的な交流が出来るよう計画している。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	3			事業所利用開始前、及び内容に変更があった際には、文書及び口頭にて説明を行い同意を得ている。支援の具体的な内容については、連絡ノート・おたより・面談等を活用している。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	25				お迎えの際申し送りや連絡ノート、年2回の面談を通し、お互いに意見交換と情報共有が出来ている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25				保護者の方々からの相談には特に丁寧な対応に努めており、必要に応じて一緒に考えたり助言を行っている。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18	5	2		年3回程度の保護者会を行っており、同じ内容で複数回開催するなど参加しやすいよう工夫を行っている。また、保護者同士のつながりが出来るよう、圏域で開催される保護者を対象にした研修会・集会のご案内をしている。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	4			現状として特に苦情は出ていないが、日頃の保護者の方々の意見や相談に耳を傾け、苦情になる前に対応していくよう努めている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1			双方の立場に配慮した対応を心がけている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	1			毎月おたよりを発行し、活動内容及び行事予定等の他療育内容について各家庭に発信している。また、自己評価については、法人HPへの掲載の他毎年各家庭に結果を配布し伝えている。
14 個人情報に十分注意しているか	23	2			努めている。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	6	2		マニュアル策定は行っており、玄関先いつでも確認できるよう設置し必要に応じて説明している。今後は更に保護者への周知がなされるよう、保護者会を活用し説明を行っていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	7	2		施設全体での訓練においては職員のみ参加になりがちであるが、年に2回総合訓練を行っている。子どもたちは長期休暇を活用し、事業所単体で実際の訓練や防火指導を行っている。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	22	3			子ども達や保護者からの意見に耳を傾けながら、子どもたちを楽しみに感じてもらえるように療育活動の工夫を行っている。また、事業所としての役割を意識しながら今後も進めていきたいと思う。
	18 事業所の支援に満足しているか	24	1			定期的に支援内容を見直しや確認を行いながら、満足していただく方が少しでも増えていくよう努力していきたい。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所さくら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	2	職員の配置数は適切である	9			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		9		第三者評価を受ける準備をすすめている。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
関係	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-		現在、医療的ケアが必要な子どもはいないが、必要に応じて連絡体制を整える。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9				

機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9			圏域内で年ごとに当番を決められており、会議への参加や情報共有はできている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9			ペアレントトレーニングとして公表して支援は出来ていないが、事業所内研修を進めながら必要に応じたサポートに努めている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			
	35	個人情報に十分注意している	9			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-		現在、アレルギー7対応の必要な児童の利用はないが、対象児童がいる場合は指示書に基づく対応に努める。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 2年 3月 31日

事業所名 ゆいまーる

保護者等数(児童数) 3

回収数 3

割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3					
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	3					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	3					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1		2		ハロウィン交流会やお遊戯会の時期には同法人の保育園児との交流があります。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	3					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	3					
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1			2		茶話会を開催し、保護者様同士の情報交換や交流の場を支援していきます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3					

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	3				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2			1	緊急時の対応に関しては定期的に確認してい、周知を徹底していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			1	年2回の避難訓練を実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	3				
	23	事業所の支援に満足しているか	3				

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 31日

事業所名 ゆいまーる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	2	職員の配置数は適切である	9		医療的ケアが必要なご利用者様には看護師を配置し安全に活動ができるようにしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3	監査を受けており業務改善につなげています。	第三者評価を受ける準備を進めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	外部の研修を受講します。	全員の参加が難しいため、研修の復命の徹底や事業所内研修の充実にも努めていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		既存のアセスメントシートは知りたい情報が不足している部分があるため、様式を改善して情報の過不足がないように努めていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			一人一人に合わせて必要な支援項目を選択しているが、細目に見直しを行うとともに職員全員が内容を把握できるように定期的に確認を行っていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		翌日ではあるが前日の振り返りができており、以前に比べ情報の共有ができています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9				
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	1	主治医の指示を受けた保護者様の依頼のもと看護師により医療的ケアを行っています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		担任の先生、相談員様や保護者様を通じて情報共有につとめています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		担任の先生と情報交換会議をおこない、情報共有に努めています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	2	ハロウィン交流会やお遊戯会で同法人の保育園児との交流があります。	必要に応じて、ゆいまーるから外部に出向いての交流も今後検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	2	八代の通所事業所が集まる会議に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	1	押し付けにならないようにゆいまーるで取り組んで成功したことを中心にお伝えするよう心がけています。	今後家族支援プログラムについても研修会の参加等を進めながら、専門的な支援を行っていきけるよう努めていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	1	茶話会を開催し、保護者様同士の情報交換や交流の場を支援しています。	保護者同士の連携が深まるよう、茶話会の内容を検討し工夫していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9		千の穂文化祭では地域の方の参加があります。	
	非常時等の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1	年2回の避難訓練を実施しています。緊急時の対応に関しては定期的に確認しています。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9			
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		医師の指示を受けた保護者様からの依頼に基づいて対応していきます。	

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	ヒヤリハット事例集を作成し共有するようにしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	年に一度虐待防止に関する研修会の参加及び職員全員での勉強会を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9			



保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：2年 3月 31日

事業所名 ゆいまーる

保護者等数(児童数) 10 回収数 9 割合 90%

		チェック項目	評価				ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1			ご意見:人数が増えると少し狭いと思います。 対応:各児童が快適に過ごせるようなスペースを確保できるように留意していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	4	1	1	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	1	1	意見:参加したことがないです。 対応:茶話会を実施し、ご家族様同士の情報共有の場を提供していきます。随時参加のご案内をしていきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		1	意見:苦情を聞いたことがないです。 1 苦情やご意見は今後よりよいサービスを提供するために遠慮なく頂きたいと思 います。直接言いにくい場合は市役所などの窓口にお伝え願います。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9				
非常 時等 の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	9				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9				
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2	1	1	
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9				
	18	事業所の支援に満足しているか	7	2			意見:利用できる日数が少ないです。 対応:ご利用者様の増加に伴い、全ての利用希望に添えない場合がございます。出来る限りご利用希望に添えるように努めていきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2年 3月 31日

事業所名 ゆいまーる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	2	職員の配置数は適切である	9			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3	監査を受けており、業務改善につなげています。	第三者の評価を受ける準備をすすめていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1		全員での研修受講が難いため、研修の復命の徹底や事業所内研修の充実に努めていきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		朝礼でその日のリーダーが役割分担等の確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		翌日に前日の振り返りを行い情報共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9				
関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9			

機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			相談には随時丁寧に 対応しています。	ペアレントトレーニングの研修を進めながら、より専門性を持った支援を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			
	35	個人情報に十分注意している	9			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9			千の穂文化祭には地域の方の参加もあります。その他、地域の方で構成されたブラスバンド部による演奏会などが定期的に開催されています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1		防犯マニュアル・感染症対応マニュアルに関しましては保護者様への具体的な説明が不十分なため、今後保護者様にも周知していきます。医療的ケアが必要なご利用者様に関しては定期的に緊急時の対応についての確認を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			総合避難訓練を年2回行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 2ndさくら

保護者等数(児童数) 21 回収数 14 割合 67%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13			1		支援スタッフは保育士4名 児童指導員2名指導員1名 で対応しています。 事業所内研修、外部研修を 行い、スキルアップに努め ていきます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12			2		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	13			1		児童発達支援ガイドライン に沿った内容で計画作成を 行うことに努めています
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			2		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	14					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	3		4		
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1				現在毎月ペアレントプログラ ムを利用児童の保護者対 象で行っています。お便り やLINEを通してお知らせし ていますが、より周知を図 れるよう、プリント配布な ども検討していきたいと思 います
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	12	1	1			
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	2				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2				
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	2				

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14					
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9		1	4		定期的に災害を想定した訓練を行っています。避難訓練の事前通知や事後報告を行いながら、周知の徹底に努めていきたいと思いをしています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1	1	5		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2				
	23	事業所の支援に満足しているか	14					

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 2nd さくら

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			部屋の模様替えを行いながら子どもたちが過ごしやすい環境設定に努めている
	2 職員の配置数は適切である	6		利用児童の発達に合わせ、スタッフ配置を行っている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		活動ごとに部屋わけを行い、それぞれの部屋で行う活動をわかりやすく提示している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		研修への参加や事業所内研修を行っている	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		児童発達支援ガイドラインに沿った内容で計画作成を行うように努めている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		児童の発達に応じて、登校練習等就学に必要な練習を行っている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		朝の終礼を行い、振り返りや次の活動の話し合いを重ねている。 翌日の活動の打ち合わせも朝の終礼で行っている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 2nd さくら

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		会議の前に児童の担当者と児発管でミーティングを行っている。 児童発達支援管理責任者が必ず会議に参加するようにしている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			現在医療的ケアが必要な方の受け入れがない。 必要性が出てきたときにその都度考えていく	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	登録児童全員が園に所属しており、それぞれに交流がある。所属園とは送迎を利用して情報共有に努めている。 月1回のおたよりを所属している園にご家族を通して配布している。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		八代圏域の通所支援事業所の会議には参加し、圏域の情報共有に努めている。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6		現在月に一回の茶話会の中で行っている	今後の課題として参加者を増やし、ニーズ別にペアプロを行っているようにしたい	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		毎月セカンドさくらだよりを発行し、利用児童が所属する園への配布を行い、事業所内で取り組んでいることをお知らせしている	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	6			

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 2nd さくら

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		地域で開催される花の苗植えなどに参加している	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年に2回災害を想定して避難訓練を行っている	様々な災害に備え、避難訓練の機会を増やしていきたい
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		てんかんをお持ちの方に対しては利用前と保護者の方の面談の際に対応方法の確認を行い、スタッフ間で共有している	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			現在対象児童はいない。今後受け入れができるように事業所内で身体拘束の研修会を行っていく



保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 2ndさくら

保護者等数(児童数) 47 回収数 28 割合 60%

		チェック項目	評価			ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	4	1	【ご意見】 体を動かす遊びを取り入れてもらい、助かっている 16:10下校の場合、利用ができず、とても残念です。水曜日に集中してしまうので、週一だけでも18:00までの利用が可能になれば嬉しいです 【事業所より】 利用児童の特性や発達の状況に合わせて配置を行っています。 保育士4名児童指導員3名指導員1名、うち児童発達支援管理者2名で療育にあたっています 婦りの会を17時にしていますが、お仕事をしにいらっしゃるおうちも多く、18時までお預かりが可能です。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	9		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	4	1	【ご意見】 設備としては配慮されているのかもしれないが、物が多く、室内移動時の配慮不足を感じる アドバイスをもらい助かっている 【事業所より】 事業所内をR1年9月より見直し、より療育に適した環境に移行中です。 茶話会や保護者参観を利用し、事業所の中を保護者の方々にもみて頂ける機会を増やしていきたいと思ひます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	26	2		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	24	4		【ご意見】 夏休みは川遊びやご飯作りなど色々な活動があつて本人も喜んでいました 【事業所より】 おたよりなどを通して、事業所の中での取り組みを紹介していきたいと思ひます
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	18	1	【事業所より】 登録している子ども全員が八代市内の小中高校支援学校に在籍しており、日頃から交流を持つことができている 長期休暇中や土曜日の一日療育の際、地域の行事へ参加したり、公共の施設へのお出かけを行い、交流を図っています
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	1		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	3		【ご意見】 「〇〇ができるように取り組んでいきます」など明確に伝えて頂きわかりやすかつたです。 トラブルがあつた時は詳しく説明して下さいその日の活動の様子を話してもらい、ありがたく思ひます
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	3		【ご意見】 悩んだ時、とても丁寧に对应して頂き、助かりました。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25	3		【ご意見】 いつも仕事で参加できず、すみません 【事業所より】 お仕事をされているご家庭も参加して頂けるよう、開催日時の早期周知を図るなど工夫していきたいと思ひます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	3	1	【ご意見】 丁寧に对应して頂き助かっています 【事業所より】 様々なご意見に対し、個別に对应していきたいと思ひます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	3		【ご意見】 毎日のファイルはその日に記入して頂く様子がわかりありがたいです。 【事業所より】 その日のうちにノートを記入し家族の方にお渡しできるよう、ノートの書式を変更いたしました。ご意見、ありがとうございます。
13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25	3		【ご意見】 スケジュールが会報に書いてあるのがわかりやすくていいな、と思ひました	

	14	個人情報に十分注意しているか	26	2	【ご意見】 お迎えの時、一度にお迎えに来られるので、仕方ないのですが、子どものことを話す時、他の保護者に聞かれたくない内容の時、もう少し配慮して欲しい
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	10	【ご意見】 学校でも引き渡し訓練があるように2ndさくらさんでも行われてもよいかと思いましたが 一部利用者のみ？曜日を変えて実施しないと、いろいろな利用者があるので不安になる 【事業所より】 ご意見、ありがとうございます。防災訓練は行っていますが、おたよりなどを通し、周知の徹底を図っていきます また、引き渡しの訓練についても、状況をみながら今後計画していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	9	1
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	25	3	【ご意見】 利用するのを楽しみにしていて、遅く迎えに来て欲しいという時もあります。 お迎えに行った時はいつもニコニコで出てくるので楽しかったんだなあと思っています。 さくらに行きたくないといったことは一度もありません
	18	事業所の支援に満足しているか	25	3	【ご意見】 通所にもずいぶん慣れ、嬉しく思っています 困った時も相談しやすく、とても安心できます。いつもありがとうございます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 2ndさくら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			現在、部屋の模様替えを行い、子どもたちが過ごしやすい環境設定に努めています。 スペースとしては確保しているが、個別支援が必要な利用者の方に対し、よりよい環境を提供するため、部屋の配置を考えていきたい。
	2	職員の配置数は適切である	8		職員の加配はされている	職員の加配はしているものの、利用児童の心身の状況により、個別対応が必要な場面も多くあるため、職員間の連携を強化しながら人員配置や環境設定のさらなる工夫を図っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8		段差をなくした建物の設計になっている	職員の配置が明確になるよう玄関に各部屋のスタッフ配置を掲示していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		研修の参加や事業所内研修を行っている	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		チームでミーティングを重ね活動計画を立てている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		個別学習に加え、サーキットや制作、歯磨き指導を行っています。	今後も面談や日頃のやり取りを通して利用児童や保護者のニーズを把握し、大人になり、社会に出る時に役立つスキル獲得のお手伝いをしていきたいと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		屋礼を行い、活動内容の確認や役割分担の確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		会議の前に児童の担当者や児発管でミーティングを行っている。児発管が必ず会議に参加するようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 2ndさくら

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			現在医療的ケアが必要な方の受け入れがない。必要性が出てきたときにその都度考えていく	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8			
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8	登録児童全員が学校に行っており、交流や活動を進めている 月1回のおたよりをご家庭を通して児童が所属しているクラスに配布している	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3		八代圏域通所支援会議には参加しており、圏域の他の事業所との交流を行っている。 協議会への参加は圏域の事業所で持ち回りで起こっている
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		保護者の方のお迎えの際、担当職員が日々の様子を伝達している	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8		今年度よりペアレントプログラムを茶話会で行っている	今後の課題として、参加者を増やし、年代別、ニーズ別にペアプロを行うようになりたい。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		児童が在籍する学校におたよりを配布し、事業所で取り組んでいることをお知らせしている	
	35 個人情報に十分注意している	8			
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8			地域のお祭りに参加している。 地域の方にボランティアに入っていたく、長期休暇中の活動で外部の方に講師に来ていただくなど、地域に開かれた事業運営に努めている
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		年に3回は定期的に避難訓練を行っている。 年に2回消火器の使い方などの講習を職員全員で受けている	様々な災害を想定し、定期的に訓練を行っていきたい

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 2ndさくら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8		現在対象児童はいない。 今後の受け入れができるよう事業所内で研修を行っていく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表： 2 年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所ほのか 保護者等数(児童数) 12 回収数 5 割合 41%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	5					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5					・今後も計画に沿いより良い支援を行っていきます。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	5					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5					
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					・今後も契約時にサービス内容や料など丁寧な説明を心がけていきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5					・引き続き丁寧な説明、分かりやすい説明を行っていききたいと思います。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	5					
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5					・今後も日々、丁寧な対応を心がけていきたいと思えます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1				・保護者同士の連携を育めるよう、茶話会の内容等を検討します。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5					・相談しやすい環境づくりに今後も努めて参ります。

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5				・ お便りなどで日々の活動の様子をお伝えしていきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	5				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4	1			・ いつでも確認できるようにし、定期的に説明の機会を設けるなど周知に努めていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1			・ 訓練の予定や報告をその都度行っていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5				
	23	事業所の支援に満足しているか	5				

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所ほのか

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		・指定基準に基づき活動スペースを十分に確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	9		・基本的に個別指導を行っているため、1対1で対応をしています。	・基準に基づき職員の配置を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	1	・子どもが利用の時には、活動のないように合わせた環境設定を行うようにし、室内の整理整頓・提示物の整理等工夫している。	・少しでも一人一人の特性に応じた環境作りに今後も努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		・ホームページに評価の公表を実施しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		9	・第三者評価は実施出来ていないが、事業所評価及び内部監査の結果をもとに改善に努めている。	・今後、第三者評価を受けるための準備をすすめていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		・外部研修にも積極的に参加し、事業所内で情報共有を行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・チームでプログラムを立案し見直しも行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		・小集団・集団・SST等、子どもの状況に応じて活動を計画実施している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9		・一人ひとりの発達に応じて個別・集団・社会性などに分け支援計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		・毎日、職員でミーティングを行い情報共有を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		・改善・見直しができるように支援内容の振り返りを行い、次の支援に繋げている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		・半年に1度見直しを行っているが、期間に拘らず必要に応じて見直しを行っている。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		・開催される場合には児童発達支援管理者が出席している。		



関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9		・保護者及び関係機関からの情報収集に努め、連携を深めながら支援を行っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・現座、利用なし。	・現在利用はないが、希望があった際には子どもが関わる機関と連携を図りながら安心してご利用できるよう配慮していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	1	・利用児全て保育園に在籍していることから、日常的に交流が図れているため、事業所では園生活がスムーズに送れる支援に努めた。	・子どもが在籍している保育園と連携を図りながら、交流の機会が持てるよう検討いく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		・日頃の会話や連絡ノートを活用し、随時情報の共有ができるように努めている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9			・ペアレント・トレーニング研修をすすめることにより職員のスキルを高めながら、専門的に支援ができるように努めていく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		・契約時及び変更時には説明を行っており、質問があった際にはその都度対応している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		・モニタリング時に相談の時間を設けている他、随時相談を受けれる体制作りを行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9			・保護者同士の連携は図れるよう、茶話会の内容を検討してしていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		・相談、申し入れがあった場合には電話や家庭訪問にて迅速な対応を努めており、苦情受付の体制については契約時に説明をしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		・毎月のおたよりや増刊号の発行により、行事予定や活動の状況をお知らせし、情報提供に努めている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		・子どもの状況に合わせた情報伝達(写真・文字など)に努めている。	・口頭・連絡ノート・手紙・ライン等複数の情報手段を活用し、保護者の方との意思疎通にも努めている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9			・事業所が属する複合施設として取り組んでいる地域との交流を継続して行っていく。
	非常時等の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		・利用者家族様へ丁寧に説明を行い、いつでも確認できるよう入口にマニュアルを設置している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		・総合訓練は年に2回、事業所のみでは年1回行っている。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		・契約時にアセスメントにて、病歴や配慮が必要な内容について把握をし対応している。	・今後も、家庭と定期的に状況の確認と情報共有をしながら対応していく。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		・危険な事例があった場合は、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で情報共有し、再発防止に努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	・外部研修への参加と事業所内での情報共有に努めている。	・今後も、定期的に研修会を行い職員の意識を高めながら、共通認識のもと支援を行っていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	・身体拘束は行っていないが、身体拘束に関しては、利用者様の生命や身体への緊急を要する条件として職員の共通認識に基づき支援をしている。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 ほのか

保護者等数(児童数) 53 回収数 43 割合 81%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	41	2			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	39	4			・職員は有資格者を配置しており、今後はさらに子どもたち一人一人に合ったサポートが出来るよう、研鑽に努めています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	40	3			・室内はバリアフリー化になっているが、備品の配置やスロープや手すりの配置については、定期的に見直しを行い環境改善に努めています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	43				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	36	7			・本人の興味関心を高めながら、その日の心身の状況に応じて活動プログラムの設定や変更を行っています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	31	12			・年に一度、利用者様が利用している児童クラブとの交流を実施しています。今後も計画をしているため、もっと活動の内容や様子を家庭にも知らせていくようにします。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	43				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	43				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	39	4			・面談は年に2回実施しており、年に3回程度の茶話会を行っていますが、長期休暇中の過ごし方等が主になっているため、保護者様同士の連携の支援ができるように茶話会の内容を見直していきたいと思っております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26	16	1		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	36	7			・苦情に対して迅速な対応を心がけるだけでなく、各家庭とのコミュニケーションを深めながら、苦情になる前に対応ができるように努めています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	10			・連絡ノートや送り迎え時の会話の他LINEの活用など、少しでも情報の共有が出来るよう努めています。情報の伝達が一方向的にならないよう気を付けます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	34	9			・月に1回のおたよりや増刊号の発行により、行事予定や療育内容等を紹介しています。自己評価の結果については、法人HPにて公表していることを周知していきます。
14 個人情報に十分注意しているか	43					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	24	1		・マニュアルの整備は出来ているのですが、保護者の皆様への説明・周知が不十分でした。茶話会などで説明を行ったり、内容を確認できるよう掲示するなど、周知説明に努めています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	17			・千の穂全体での総合訓練を2回実施しており、避難、通報、消火の訓練を行っております。今後は、おたよりや掲示板にて訓練実施の情報を発信していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	32	11			・子どもたちが楽しんで通所できるようプログラムの計画や内容の見直しを行っています。
	18 事業所の支援に満足しているか	43				

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所ほのか

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	2	職員の配置数は適切である	9			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		・毎日、職員ミーティングを行っている。	・ミーティングの充実と関係機関との連携を図りながら、利用者様の情報共有と職員のご共通理解に努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			・保護者様のアンケートの結や意向を検証しながら、改善に向けての見直しを行っている。必要に応じて再度情報を収集しながら業務の改善に繋げていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			・公開しているという情報の提供が不十分であったため、お便りや掲示板にて各家庭に周知するようにする。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		9	・保護者の方々の意見や内部監査等で改善を図っている。	・第三者による外部評価を受けるよう準備をすすめていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		・研修会参加、復命を行い資質向上に努めている。	・年間計画に基づいた事業所内研修の実施により、その時々に必要な知識の習得や確認を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		・保護者様・利用者様の意向を確認し支援計画を作成しています。保護者様より検査結果をいただき発達状況を把握している。	・定期的なアセスメント・モニタリング・ケース会議を行い支援計画を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・活動プログラムでは利用者様一人ひとりに合わせ小集団・集団・SSTのプログラム内容を職員同士でミーティングで計画し、実行している。支援の内容や活動方法では子どもの特性に合わせて共通の目標の確認を行い取り組んでいる。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			・活動が固定化されないように、個別課題と集団の活動を取り入れることでプログラムが固定化されないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9		・一人一人の課題に応じて、個別・集団での目標設定と活動内容の検討を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		・活動前には、職員のミーティングを必ず行い利用者様の様子やプログラムの流れ、支援内容を確認している。また、終わった後には振り返りの記録を行い、次回の支援に繋げられるよう職員間での共通認識に努めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		・定期的に見直しを行っている。		

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9			・支援計画書に発達支援・家族支援・地域支援を入れ具体的な計画を立てている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		・開催されてる会議には、児童発達支援管理責任者が出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		・送迎時や必要に応じてその都度情報共有をしており、保護者の方からも情報を得ている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9		・医療ケアが必要な子どもに対して、情報共有をしっかりと行っている。	・職員の共通認識に努め緊急時の対応、保護者様と連絡連携体制を図り利用者様が安心して通所できるよう努めている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9		・移行支援会議等情報収集に努めながら、連携の強化を図っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		・個人情報の取り扱いに十分気を付けながら、必要に応じて情報提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		・専門機関の助言を定期的に受けている。	・子ども総合療育センターの療育講習会に参加や専門機関の助言を受けながら、さらに療育内容の充実や職員の資質向上に努めていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9		・年に一回の交流を定期的に行っている。	・今後も定期的に地域交流を行っていきながら、交流予定や交流の具体的な内容や子どもたちの様子など、おたより等を活用しながら各家庭にも情報提供をしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		・送迎時の会話や連絡ノートを積極的に活用しながら、状況をお伝えしている。	・今後も日頃の療育内容を積極的にお伝えし、更にご家族と一緒に共通認識を持ちフィードバックの時間を設けていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	2	・事業所内で研修をすすめている。	・必要に応じて支援を行っているが、今後もペアレント・トレーニングの研修を進めながら、専門性をもった支援に努めていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		・契約時や質問があった時など、その都度説明を行っている。	・支援内容、利用者負担金等、改正があった場合には速やかにプリント配布を行うとともに個別の説明も行いながら周知に努めていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		・定期的な個人面談の他、ご家族からの悩みにはその都度丁寧な対応を心がけている。	・保護者様と一緒に悩みを解決できるよう迅速・丁寧な対応を心がけており、今後はフィードバックの時間を設けながら継続した支援を行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9			・保護者同士の連携が深められるような内容を検討しながら、定期的な茶話会の実施に努めていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		・苦情受付・解決に迅速かつ適切に対応をしています。また、職員への共通認識を行っている。	・苦情になる前に対応できるよう、日々のご家庭とのコミュニケーションを大切にしていける。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		・毎月のお便りや増刊号を発行し、活動内容や行事予定を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	9		・個人情報が記載された書類の取扱には充分注意をしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			・送迎時の会話、連絡ノート、手紙、電話、ライン等、情報が伝達しやすい方法をその都度検討しながら、意思の疎通に努めていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9		・施設の行事に地域の方の参加もあり、積極的に交流を行っている。	・単独での開催は難しいが、複合施設であることの特徴をいかしながら、他事業所と協力しながら地域との交流を大切にしていける。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1	・利用家族様へ丁寧に説明を行い、いつでも内容を確認できるようマニュアルを設置している。	・定期的な内容を確認し、保護者の皆様にも周知できるよう説明の機会を設けていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		・施設全体の総合訓練を年に2回の他、事業所だけの訓練を年に1回行っている。	・訓練の予定や取り組み内容については、その都度おたより等を等してご家族にも情報提供を行っていく。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		・外部研修参加の他、事業所内でも取り組んでいる。 ・今後も、定期的に研修会を行いながら、職員の知識を深めながら意識向上に努めていく。
	41	このような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		身体拘束に関しては、利用者様の生命や身体への緊急を要する条件として職員の共通認識に基づき支援をしている。 ・身体拘束を行った場合には記録に残すこと、また契約書に記載し保護者様には契約時に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—	・現在対象の子どもの利用はないが、必要な場合は医師の指示書に基づき、保護者と連携を図りながら進めていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		・事例が生じた際は、報告書記載、ミーティング等で情報を共有し再発防止に努めている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表： 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 わっこ

保護者等数(児童数) 61 回収数 52 割合 85%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	46	5		1	【ご意見】 ・いつも親身に寄り添って頂いています。 ・玄関から入った時より、いつもきれいに整理されており、清潔感があります。・きちんと清掃されています。 ・庭もあり広々としていました。 ・他の事業所と比較した事がないので分かりませんが、狭くは感じません。 ・大丈夫だと思います。・問題ないと思います。 ・動きやすい環境を保たれていると感じます。 ・色々な道具で工夫されていて感心しました。 ・本人が楽しそうに過ごしているようなので、配慮は適切だと思います。 ・家族療育等でお部屋に入りましたが、特に気になる所はありませんでした。 ・十分すぎるほどスタッフの方がたくさんいらっしゃって、安心していきます。 【事業所より】 ・職員は保育士10名看護師1名の11名のスタッフで対応させて頂いています。環境設定も、年齢、活動内容に応じて随時変更しています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	47	1		4		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	46	2		4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	47	3		2		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	47	3		2	【ご意見】 ・ガイドラインの内容が分からないのですが、適切に設定されているのではないかと思います。 ・保護者の思いをしっかり計画に組み込まれていると思います。 ・利用の度に写真付きで活動の内容を知らせて頂き、とても分かりやすいです。 ・毎回異なる療育が行われていて満足です。 ・好きなキャラクターを使ってくれたり、沢山のアイデアが詰まった課題です。 ・定期的に変化がありました。 ・十分な支援だと思います。 ・まだ通所半年ならないので不明です。 ・私自身がこの内容の意味をよく理解できていないので分かりません。 【事業所より】 ・児童発達支援ガイドラインについては説明不足で申し訳ありません。今後、家族療育時の座談会の場合や説明する場を設けていきたいと思っております。 ・利用時は個々の状況、計画に基づき活動、教材の設定を行っています。今後も目標、目的がより分かりやすくお伝えできるように努めていきます。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	43	2		7		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	48	1		3		
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	45	3		4		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25	5	2	20		
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	50	2			【ご意見】 ・よく分かりました。先が見通せて良かったです。 ・丁寧に教えて頂きました。 ・ノートやlineで相談に対して色々な助言を頂いています。 ・先生たちに聞いたり、わっこだよりに書いてあったりして助かっています。 ・写真付きで説明が毎回あるので、親だけでなく、祖父母とも共通理解ができています。 ・毎回訪れた時などは情報を聞くようにしています。 ・まだ子どもが療育に慣れる事からなので、私が質問等する事がないが、話を聞いていると助言などもしてもらえると嬉しいです。 ・定期的ではありませんが、アドバイスを受ける機会はありました。 ・送迎時にお話が出来るので、その時に伝えあう事が出来ていると思います。 【事業所より】 ・家族支援プログラムについては、今年度「ペアレントプログラム」についてスタッフの研修会を行っています。次年度以降、ご家族と一緒に取り組んでいきたいと考えています。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	43	2	1	6		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	40	6	1	5		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	43	3	1	2		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40	9	1	1		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	33	8	3	8		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	43	6		3		

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	45	5		2	【ご意見】 ・ラインの利用で迅速に対応して頂いています。 ・ちょっとした時間でも話を聞いて下さって本当に助かっています。 ・急なお迎えにも対応して頂いており、とても助かっています。 ・とても相談しやすい環境をつくって頂いています。 ・人気があり、定員の関係もあり、療育日に休んでしまうと振り替えができないのがもったいない。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	44	4		4	【ご意見】 ・ホームページは見ただけですが、月のお便りで把握する事ができています。 ・毎月出される通信は手書きで温かみがあり、且つとても分かりやすいです。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	45	3		4	【ご意見】 ・しっかり対策は取られていると思いますが、どのような訓練が行われているのか知らないです。 ・今回のコロナウイルス対策についてのプリント配布も速やかに対応されていたので良かったです。 【事業所より】 ・災害に備えた訓練を実施しています。訓練というよりも、通常の療育の中で、避難時に必要な「見る・聞く・行動する」力をつけています。周知不足でしたので、今後はお便りで活動内容をお伝えしていきます。 ・事業所として、非常時に備え、スタッフ配置はもちろんのこと、避難経路、場所の確認、心肺蘇生、緊急連絡等想定しての研修、訓練を行っています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	26	6		20	【ご意見】 ・しっかり対策は取られていると思いますが、どのような訓練が行われているのか知らないです。 ・今回のコロナウイルス対策についてのプリント配布も速やかに対応されていたので良かったです。 【事業所より】 ・災害に備えた訓練を実施しています。訓練というよりも、通常の療育の中で、避難時に必要な「見る・聞く・行動する」力をつけています。周知不足でしたので、今後はお便りで活動内容をお伝えしていきます。 ・事業所として、非常時に備え、スタッフ配置はもちろんのこと、避難経路、場所の確認、心肺蘇生、緊急連絡等想定しての研修、訓練を行っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	4		30	【ご意見】 ・しっかり対策は取られていると思いますが、どのような訓練が行われているのか知らないです。 ・今回のコロナウイルス対策についてのプリント配布も速やかに対応されていたので良かったです。 【事業所より】 ・災害に備えた訓練を実施しています。訓練というよりも、通常の療育の中で、避難時に必要な「見る・聞く・行動する」力をつけています。周知不足でしたので、今後はお便りで活動内容をお伝えしていきます。 ・事業所として、非常時に備え、スタッフ配置はもちろんのこと、避難経路、場所の確認、心肺蘇生、緊急連絡等想定しての研修、訓練を行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	43	6	1	2	【ご意見】子どもは通所を楽しみにしているか ・まだ言葉では教えてくれませんが、送迎時に嫌がる事なく行きますが出来ます。 ・時々行き渋りは見られましたが、全体を通しては意欲がありました。 ・毎回楽しみにしています。お友達と会えるのも嬉しいようです。 ・できた事を嬉しそうに話してくれています。 ・気分が違う時があります。 ・とても楽しみにしています。 ・とてもとても楽しみに、先生大好きと楽しみで行かせてもらっています！！ ・気分が乗らない日も、終わったら「やっぱり楽しかった」と話してくれます。 ・ノートを見る限りとても楽しく取り組んでいると思います。 ・毎日行きたいと話すくらい楽しみにしています。 【事業所より】 ・様々なご意見ありがとうございます。活動プログラムにおいては、現状を見極め楽しみながら学ぶ場の設定を心がけています。 ・教材も個々の興味のある物から作成し、興味を持って取り組めるように工夫しています。 ・行き渋りが見られた時にはすぐに事業所にお知らせください。行き渋りが見られる時は子どもたちが頑張っている時です。再度、意欲に繋がるよう、取り組み内容を検討します。 ・たくさんの「できた」「達成感」を感じられるような活動設定に努めています。
	23	事業所の支援に満足しているか	49	1		2	【ご意見】事業所の支援に満足しているか ・支援のおかげで成長する事ができています。 ・家庭だけでは難しい事も、事業所でも同じことを繰り返してもらってスムーズに進める事ができ、満足しています。 ・いつも親切に対応して下さい感謝しています。 ・個人に合った療育を取り組んで行ってもらえていると思います。感謝しかありません。 ・少しずつ、子どもの進歩が見られ、満足しています。 ・とても手厚い対応がノートを見ても感じられます。 ・こちらの事情に合わせた対応や相談に乗ってくださいます。子どもへの接し方、過ごし方などなどよくアドバイス頂きます。子ども、親に優しく、親身になって下さる先生ばかりで感謝しています。わっごさんで良かったと思います。 ・大変満足しております。子どもも楽しそうに行っていると思っています。わっごさんを選んで良かったと思ってます。 ・慣れてきた頃に違うスタッフの方に変えられて泣いて帰ってきます。慣れる事も大事ですが、療育をする事や楽しいところと認識する事も大事にしたので、慣れたスタッフさんとするか、または慣れたスタッフさんと慣れていないスタッフさんの2人体制でして頂くかです。嬉しく思います。 【事業所より】 ・できるだけ慣れるまでは同じスタッフが対応するように努めています。しかし、スタッフの休みや利用人数の関係から、同じスタッフでの対応が難しい日もあります。ですが、わっごは、全職員が保育士・看護師の資格を持ち、内、8名が3年以上の経験者です。ずっと泣かれている事はなく、笑顔も時折見せながら過ごされている子どもさんがほとんどです。子どもさんの泣き顔を見ると不安も募られると思いますが、スタッフ間でもしっかり申し送りを行っています。チームとなって対応しています。安心してご利用ください。 ・様々なご意見を頂きながら、今後も質の向上に努めます。

【ご意見】子どもは通所を楽しみにしているか

- ・まだ言葉では教えてくれませんが、送迎時に嫌がる事なく行きますが出来ます。
- ・時々行き渋りは見られましたが、全体を通しては意欲がありました。
- ・毎回楽しみにしています。お友達と会えるのも嬉しいようです。
- ・できた事を嬉しそうに話してくれています。
- ・気分が違う時があります。
- ・とても楽しみにしています。
- ・とてもとても楽しみに、先生大好きと楽しみで行かせてもらっています！！
- ・気分が乗らない日も、終わったら「やっぱり楽しかった」と話してくれます。
- ・ノートを見る限りとても楽しく取り組んでいると思います。
- ・毎日行きたいと話すくらい楽しみにしています。

【事業所より】

- ・様々なご意見ありがとうございます。活動プログラムにおいては、現状を見極め楽しみながら学ぶ場の設定を心がけています。
- ・教材も個々の興味のある物から作成し、興味を持って取り組めるように工夫しています。
- ・行き渋りが見られた時にはすぐに事業所にお知らせください。行き渋りが見られる時は子どもたちが頑張っている時です。再度、意欲に繋がるよう、取り組み内容を検討します。
- ・たくさんの「できた」「達成感」を感じられるような活動設定に努めています。

【ご意見】事業所の支援に満足しているか

- ・支援のおかげで成長する事ができています。
- ・家庭だけでは難しい事も、事業所でも同じことを繰り返してもらってスムーズに進める事ができ、満足しています。
- ・いつも親切に対応して下さい感謝しています。
- ・個人に合った療育を取り組んで行ってもらえていると思います。感謝しかありません。
- ・少しずつ、子どもの進歩が見られ、満足しています。
- ・とても手厚い対応がノートを見ても感じられます。
- ・こちらの事情に合わせた対応や相談に乗ってくださいます。子どもへの接し方、過ごし方などなどよくアドバイス頂きます。子ども、親に優しく、親身になって下さる先生ばかりで感謝しています。わっごさんで良かったと思います。
- ・大変満足しております。子どもも楽しそうに行っていると思っています。わっごさんを選んで良かったと思ってます。
- ・慣れてきた頃に違うスタッフの方に変えられて泣いて帰ってきます。慣れる事も大事ですが、療育をする事や楽しいところと認識する事も大事にしたので、慣れたスタッフさんとするか、または慣れたスタッフさんと慣れていないスタッフさんの2人体制でして頂くかです。嬉しく思います。

【事業所より】

- ・できるだけ慣れるまでは同じスタッフが対応するように努めています。しかし、スタッフの休みや利用人数の関係から、同じスタッフでの対応が難しい日もあります。ですが、わっごは、全職員が保育士・看護師の資格を持ち、内、8名が3年以上の経験者です。ずっと泣かれている事はなく、笑顔も時折見せながら過ごされている子どもさんがほとんどです。子どもさんの泣き顔を見ると不安も募られると思いますが、スタッフ間でもしっかり申し送りを行っています。チームとなって対応しています。安心してご利用ください。
- ・様々なご意見を頂きながら、今後も質の向上に努めます。



児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所 わっご

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	・部屋数も多いため、活動の場のスペースは確保できており、活動内容（個別・集団）に合わせた環境設定も随時行っている。	
	2 職員の配置数は適切である	11	0	・利用児童の特性や発達の状況によってスタッフ配置を行っており、個別での対応が可能になっている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	3	・個々に合わせた構造化も工夫している。	・段差などがあり、完全なバリアフリーではないが、児童の特性に合った環境になっている。今後も利用児童に必要な環境設定は都度行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	11	0	・都度、気付いたスタッフが発信している。 ・スタッフ同士が発信し合える雰囲気作りにもそれぞれが努めている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	・年度末に評価表を配布し、年間を通しての評価を頂いている。	・評価表のご意見を基に、次年度以降取り組んでいくべき課題をスタッフ間で共有し、在り方を検討していく。 ・ご家族に満足頂けるよう、支援の質の向上を図っていききたい。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	11		・第三者による評価を受ける準備をすすめていく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	・スタッフが参加した研修内容を踏まえ、学んだ事について研修報告を行っている。	・外部研修に参加する機会が少ないので、事業所内研修として、外部より講師を招き、療育についての研修会を設定している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1		・アセスメントに関しては、相談支援事業所からの情報を共有し、子どもと保護者のニーズを見極め、支援を行うよう努めていく。 ・アセスメント表に関しては、今後項目分けしたチェックリスト等、より詳しく把握できるように作成していく。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	0		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0	・児童発達支援ガイドラインに基づいた「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す計画作成を行っている。	・児童発達支援ガイドラインについては、ご存知ないご家族が多数である為、次年度、説明会を実施し、周知していく。 ・今後も児童発達支援ガイドライン、計画相談支援事業所支援計画に基づき、計画作成に努めていく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	・利用時の子どもの状況に応じてプログラムの設定を行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11	0	・特に小集団の活動を行う時には、活動参加に対する、個々の目標設定を行い、支援の程度も検討し取り組んでいる。	
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	・2人体制の担当制を取り入れ、それぞれのスタッフで活動や目標設定、振り返りを密に行っている。児童発達支援管理責任者においては、日ごろのミーティング		

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	グやモニタリング時の状況から、情報を収集しており、利用児童について把握できている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	・写真も添え、誰が見ても分かるように記録している。また、経過が分かるようにチェック表も作成し、活用している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	・児童発達支援管理責任者、担当スタッフの2名体制で参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	11	0	・医療的ケアが必要な子どもさんの入園に対して、保育所等訪問支援、関係機関連携サービスを活用し、事業所スタッフ、看護師とスムーズな園生活への移行支援を行っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11	0	・就学前でもある事から、就学に関しては年中児より情報提供し、放課後の過ごし方も含め検討している。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1	・就学後も1学期間は保育所等訪問支援の契約を継続して頂き、入学後の困り感にも対応できるようにしている。	・学校によっては、入学後の移行支援を希望される所も多く、今後も随時対応していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	0	・圏域の事業所スタッフ向けに行われる研修会に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	11		・登録している97パーセントの児童が園に就園しており、交流や活動を進めているので必要性を感じていないが、必要性に応じて検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	9		・協議会、子ども部会においては圏域の事業所で持ち回りになっている。圏域の事業所連携会議で、内容報告が行われるので、今後は、事業所スタッフへの周知を徹底していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	・お迎えに来られた保護者に対しては、取り組んだ教材を実際に見て頂きながら目的と様子、今後の課題についてお伝えしている。また、連絡ノートでは写真やコピーを活用して利用児童の様子が伝わりやすいように工夫している。	・近年送迎希望が増加しており、ご家族と会う機会が減っている。モニタリング時に現状や今後の課題等をお話しするが、しっかりと共通理解が出来ているか、曖昧なケースもある。今後、できるだけ事業所に足を運んで頂き、直接お伝えする機会を増やしていく事が課題。検討していく。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	7		・今年度、「ペアレントプログラム」についてスタッフが学んだので、次年度以降ご家族と取り組んでいきたい。	
保護者への説明書	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援	11	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	2	・就学された先輩保護者を招いた茶話会を実施し、就学後の期待や不安について意見交換し、保護者同士の繋がり場を設けている。	・これまで家族療育という形で保護者間の「交流」の場を設けてきたが、今後は「連携」を意識した座談会、茶話会の開催に努める。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0		

員 任 等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	・利用児童が在籍している園にも配布し、事業所で取り組んでいる事を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	6		・事業所としての行事は行っていないが、道路の歩き方や買い物学習など、社会ルールを学ぶ場、利用児童が生活し成長していく場として地域を含めた療育に取り組んでいる。
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	0		・周知不足だった為、今後はお便りで活動内容を伝えていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	・普段の活動の中で聞く姿勢や瞬時に注目する力、指示の理解力を高めていけるよう、スタッフも常に意識して取り組んでいる。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	11	・対象児童はいないが、身体拘束については研修を行っている。	・研修を継続して行い、職員のスキルアップを図る。